

平成29年度から 大学卒業程度『行政』『警察行政』 『教育行政』の専門試験が変わりました

平成29年度から熊本県職員採用試験において、受験勉強の負担軽減及び多様な人材が受験しやすいようにするため、大学卒業程度『行政』『警察行政』『教育行政』の専門試験を次のとおり見直しました。

1 見直しのポイント

【平成28年度】<40題出題中40題必須解答>

出題形式	出題科目及び出題数
40題必須解答	民法4、行政法5、憲法4、労働法2、刑法2、経済学9、経営学2、 財政学3、国際関係2、社会政策3、政治学2、行政学2 計12科目

【平成29年度～】<80題出題中10題必須解答、30題選択解答>

出題形式	出題科目及び出題数
10題必須解答	【法律5題、経済5題】民法2、憲法3、経済学5
80題出題中 40題解答	【法律30題】民法10、行政法12、憲法2、労働法3、刑法3 【経済30題】経済学6、経営学2、財政学4、経済原論7、 経済史3、統計学2、経済事情3、経済政策3 【行政10題】国際関係3、社会政策3、政治学2、行政学2

*出題科目ごとの出題数は予定です。

2 解答科目選択例

①必須解答：10題（民法2、憲法3、経済学5）

②選択解答：70題から、次の例のように30題を自由に選択解答できます。

法律分野が得意な方

民法10
行政法12
憲法2
労働法3
刑法3
(計5科目)

経済分野が得意な方

経済学 6 経済史 3
経営学 2 統計学 2
財政学 4 経済事情3
経済原論7 経済政策3

(計8科目)

幅広く勉強している方

民法 7 経済学 4
行政法 9 国際関係2
憲法 1 社会政策3
刑法 2 行政学 2

(計8科目)